

科目名	国際経済学Ⅰ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	International EconomicsⅠ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	さかもと こういち	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	坂元 浩一	修得単位	2単位	
授業のテーマ	国際経済取引について、仕組みと現状を理解する。			
授業概要	本講義では、国際経済取引の全体像として国際収支を学び、その構成要素である外国貿易と外国（海外）直接投資の理論を中心に学びます。必要に応じて、歴史と政策を説明します。教員の実際の海外での経験を交えながら、理解を深めてもらいます。他の構成要素については、国際経済学Ⅱで扱います。			
到達目標	国際経済取引の全体と主な活動（貿易と投資）を十分に理解できるようになります。経済関係の新聞や雑誌を読めるようになります。			
授業時間外の学習	・授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。 ・日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。			
履修条件	ミクロ経済学とマクロ経済学を履修していることが望ましいです。しかし、未履修でも本授業に積極的に取り組むことにより、好成績で単位を取得できます。			
授業計画				
第1回	イントロダクション（国際経済の内容、アプローチ）			
第2回	世界経済、地域経済、日本経済の現状			
第3回	国際収支Ⅰ（基礎事項とトレンド）			
第4回	国際収支Ⅱ（捉え方、枠組み）			
第5回	国際収支Ⅲ（政策）			
第6回	為替レートⅠ（基礎事項とトレンド）			
第7回	為替レートⅡ（理論）			
第8回	為替レートⅢ（理論と政策）			
第9回	外国貿易Ⅰ（基礎事項とトレンド）			
第10回	外国貿易Ⅱ（理論）			
第11回	外国貿易Ⅲ（理論と政策）			
第12回	外国直接投資（FDI）Ⅰ（基礎事項とトレンド）			
第13回	外国直接投資（FDI）Ⅱ（理論）			
第14回	外国直接投資（FDI）Ⅲ（理論と政策）			
第15回	まとめ			

第 16 回	定期試験
テキスト	なし
参考文献・資料	坂元浩一『教養系の国際経済論—総合的理解から次の一步まで—』大学教育出版、2012 年。 坂元浩一『世界金融危機—歴史とフィールドからの検証—』大学教育出版、2010 年。
成績評価の方法	【小テスト・レポート（40%）、定期試験（60%）】
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。
オフィスアワー	月曜日・火曜日 14：40～16：40 （それ以外の日時でも在室時は相談に応じます）
学生への メッセージ	これだけ国際化が進んだ日本および世界を、正しく理解してください。国際経済取引の理解は、企業での仕事では当然必要であり、また日々の生活でも役に立ちます。 教員の数多くの海外経験を聞くことにより、皆さんが国際経済をより身近に捉えられるようになると考えます。